

5-8 地域別方針 高田地域

～情緒あふれる歴史を感じる
みどりと水辺を巡るまち～



マンションの公開空地



企業施設の外周緑地



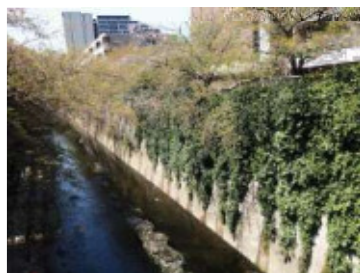
区民ひろは高南第二



協定花壇



南蔵院



神田川側道の桜並木



みどりの南北軸上の花



都電荒川線沿いのみどり



神田川側道の橋詰のサクラ



高齢者施設のみどり

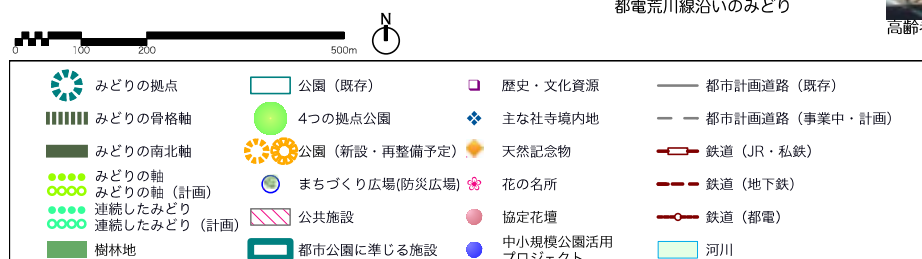


図 みどりのまちづくり方針図
(8. 高田地域)



①みどりの現況

区の南部に位置する高田1丁目から3丁目の区域で、「のぞき坂」、「宿坂」、「富士見坂」など名称のついた坂が多くある地域です。また、神田川沿いには遊歩道が整備され、土地利用は、住宅系が高い比率を占めていますが、新目白通りや学習院下通り、神田川沿いを中心に事務所系・工業系の施設と大規模な

マンションが点在して外構のみどりが見られます。大規模な公園は少ないですが、神田川の桜並木や寺社などの緑地が分布し、緑被率は比較的高くなっています。また、比較的大規模な屋上緑化が整備されている企業施設が点在しており、屋上緑化率は12地区中2位と高くなっています。

8. 高田地域				
面積	49.4 ha			
人口（R4.4.1住民基本台帳）	11,310 人			
緑被率（R元）	7.6 ha	15.5 %	：12地域の内 4 位	
樹木被覆地	6.2 ha	12.5 %		
草地	1.1 ha	2.3 %		
屋上緑化	0.4 ha	0.7 %		
公園面積（R4.4.1）	5,028.7 m			
みどりの活動（R3）				
・ 協定花壇	1	箇所		
・ 中小規模公園活用プロジェクト	1	箇所		

表 みどりの現況



のぞき坂沿いのマンションのみどり

②みどりのまちづくりに向けて

●みどりのネットワークの形成

- みどりの南北軸となる環状5の1号線（明治通り）の街路樹と都電荒川線沿いのみどりの適正な維持管理の継続
- 環状4号線（不忍通り）の整備に合わせた街路樹整備の要請と、放射7号線（新目白通り）、補助72号線における街路樹の適正な維持管理の継続
- 神田川や街路樹などを軸とした、隣接する学習院大学、肥後細川庭園、甘泉園公園などをつなぐみどりと水のネットワークの充実及び、みどりと花の見どころを巡るルートを選定

●神田川側道の桜並木の保全・活用

- 地域と協働した神田川側道の桜並木の維持管理の推進
- 景観条例での指導・協議などによる地域特性に応じた景観づくり

●公共公益施設や民有地の緑化推進

- 各学校での地域と連携するみどりづくり（「みどりの緑むすび」）
- 開発事業に伴うみどりの条例による敷地内や屋上・壁面の緑化計画の届出制度などを活用したオープンスペースやまちづくり広場（防災広場）の確保

と緑化を誘導

- 生物多様性を考慮した公開空地などの質の向上と育成管理の推進
- 歴史を伝えるみどりの保全・活用
 - 氷川神社や南蔵院、目白不動金乗院などの寺社のみどりの保全・活用
- 区民参加によるみどりづくり
 - 「学校の森」における区民と協働した適切な維持管理の推進
 - 区民ひろばなどにおける区民参加の花壇づくりの維持管理を推進
- （仮）パーク・グリーンインフラの推進
 - 区民・事業者・学生などの参加による高田地域の公園の利活用や再整備の取組を推進

5-10 地域別方針 高松・要町・千川地域

～人々のふれあいで
身近なみどりを創り育むまち～



補助26号線



富士浅間神社



高松三丁目児童遊園



えびす通り



ふるさと千川館・ふるさと千川ひろば



放射36号線 要町通り



千川彫刻公園



高松柳稲荷神社



高松小学校



図 みどりのまちづくり方針図
(10. 高松・要町・千川地域)

①みどりの現況

区の西部に位置する高松1丁目から3丁目、要町1丁目から3丁目の一部及び千川1、2丁目の区域です。地域西側の千川上水は暗渠ですが、一部桜並木となっており地域の人々に親しまれています。また、要町通りは、「池袋の都市軸」であるアゼリア通りへとつながる幹線道路であり、街路樹などによるみどり豊

10. 高松・要町・千川地域				
面積	88.9 ha			
人口（R4.4.1住民基本台帳）	18,879 人			
緑被率（R元）	11.7 ha	13.2 %	：12地域の内 5 位	
樹木被覆地	10.9 ha	12.3 %		
草地	0.7 ha	0.8 %		
屋上緑化	0.2 ha	0.2 %		
公園面積（R4.4.1）	6,585.2 m			
みどりの活動（R3）				
・協定花壇	3 箇所			
・中小規模公園活用プロジェクト	1 箇所			

表 みどりの現況



豊島長崎の富士塚

②みどりのまちづくりに向けて

●みどりのネットワークの形成

- 放射36号線（要町通り）のみどりの骨格軸を中心に、四季の彩りが感じられるみどりのネットワークの形成及び、みどりと花の見どころを巡るルートを選定
- 環状6号線（山手通り）及び補助26号線における、街路樹整備の要請や沿道の緑化

●公共公益施設や民有地の緑化推進

- 学校や地域と連携した、高松小学校の樹木の維持管理
- 千川中学校の改築にあわせた校舎、敷地の緑化推進
- 各学校での地域と連携するみどりづくり（「みどりの縁むすび」）
- 戸建て住宅地における、接道緑化や壁面緑化などの目に見えるみどりの創出の促進
- 集合住宅地や事業所の建築時の緑化推進、生物多様性を考慮した公開空地等の質の向上
- えびす通りの商店街でのみどりづくり

●みどりの活動の情報提供

- 高松小学校の芝生や田んぼ、畑などでの活動の情報発信

●区民参加によるみどりづくり

- 「学校の森」における区民と協働した適切な維持管理の推進
- 駅前や商店街、公園などでの区民参加の花壇づくりと維持管理を推進

●（仮）パーク・グリーンインフラの推進

- 区民・事業者・学生などの参加による高松・要町・千川地域の公園の利活用や再整備の取組を推進

地域別方針

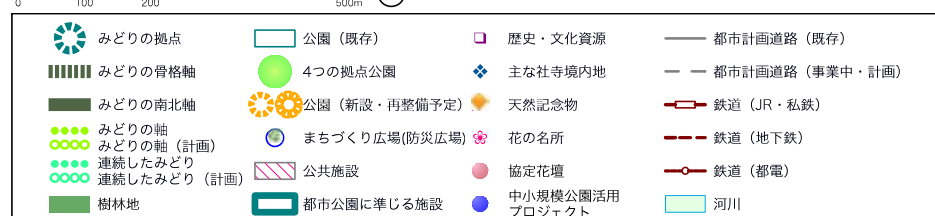
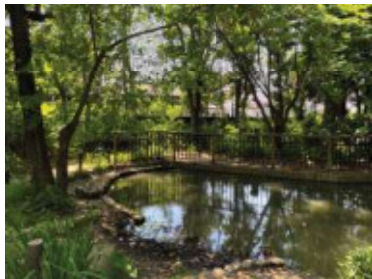


図 みどりのまちづくり方針
(11. 長崎・千早地域)

①みどりの現況

区の西部に位置する長崎1丁目から6丁目、千早1丁目から4丁目及び要町1丁目から3丁目の一部の区域で、地域には、みどりが茂り歴史のある長崎神社、金剛院、谷端川とその水源である粟島神社、千川親水公園、小鳥がさえずる公園、長崎公園、千早フラワー公園、千早公園などがあり、みどりと水の空間が形成されています。また、要町通りや千川通り、山

11. 長崎・千早地域				
面積	166.4	ha		
人口（R4.4.1住民基本台帳）	34,350	人		
緑被率（R元）	21.0	ha	12.6 %	: 12地域の内 6 位
樹木被覆地	18.8	ha	11.3 %	
草地	1.7	ha	1.0 %	
屋上緑化	0.5	ha	0.3 %	
公園面積（R4.4.1）	23,245.4	m ²		
みどりの活動（R3）				
・協定花壇	4	箇所		
・中小規模公園活用プロジェクト	2	箇所		

表 みどりの現況



金剛院

②みどりのまちづくりに向けて

●みどりのネットワークの形成

●放射36号線（要町通り）のみどりの骨格軸を中心に、四季の彩りが感じられるみどりのネットワークの形成及び、みどりと花の見どころを巡るルートを選定

● 環状6号線（山手通り）、補助26号線及び補助172号線の整備に合わせた街路樹の整備や沿道の緑化

●公共公益施設や民有地の緑化推進

●長崎小学校のビオトープや点在する小・中・高等学校における緑化の維持管理を拡大

●長崎1丁目から5丁目、千早3丁目における接道
緑化の促進や緑化されたオープンスペースの確保

● 椎名町駅、東長崎駅、要町駅及び千川駅周辺の駅前広場や商店街におけるみどりづくり

●長崎地区における居住環境総合整備事業により整備されるまちづくり広場（防災広場）の緑化の推進

●歴史を伝えるみどりの保全・活用

●長崎神社や金剛院、粟島神社などの伝統ある寺社のみどりの保全及び観光資源としての活用

手通りなどの街路樹により、みどり豊かな景観が形成されています。土地利用は、住宅系が大半を占め、庭付きの戸建住宅が多い低密度の住宅地と木造アパートや住商併用住宅が混在する高密度の住宅地に分かれます。また、椎名町駅、東長崎駅、要町駅及び千川駅周辺では商店街が形成されています。

●区民参加によるみどりづくり

●「学校の森」における区民と協働した適切な維持管理の推進

● 駅前や商店街、公園などでの区民参加の花壇づくりと維持管理を推進

●（仮）パーク・グリーンインフラの推進

●区民・事業者・学生などの参加による長崎・千早地域の公園の利活用や再整備の取組を推進

5-12 地域別方針 南長崎地域

～多世代に愛される、地域に根ざした個性ある公園とみどりのまち～



南長崎はらっぱ公園



南長崎はらっぱ公園の「いのちの森」



椎名町公園



山手通りの街路樹



南長崎スポーツ公園



南長崎通り沿いの緑



集合住宅中庭の緑



南長崎花咲公園の花壇



図 みどりのまちづくり方針図 (12. 南長崎地域)

①みどりの現況

区の南西部に位置する南長崎1丁目から6丁目の区域で、地域内には、椎名町公園、南長崎はらっぱ広場、南長崎スポーツ公園など比較的規模の大きな公園が整備されています。

南長崎花咲公園・トキワ荘マンガミュージアムを中心に、周辺の公園などの地域資源の回遊性が高まっ

ています。
土地利用は、住宅系が大半を占め、木造住宅密集地域が広がっている中に、緑量の多い集合住宅が点在しています。また、椎名町駅周辺、東長崎駅周辺、大和田通り及び南長崎通りでは商店街が形成されています。

12. 南長崎地域				
面積	80.4 ha			
人口（R4.4.1住民基本台帳）	20,437 人			
緑被率（R元）	9.7 ha	12.1 %	：12地域の内 7 位	
樹木被覆地	8.5 ha	10.6 %		
草地	0.9 ha	1.1 %		
屋上緑化	0.3 ha	0.4 %		
公園面積（R4.4.1）	29,702.0 m			
みどりの活動（R3）				
・協定花壇	3 箇所			
・中小規模公園活用プロジェクト	1 箇所			

表 みどりの現況



トキワ荘マンガミュージアム

②みどりのまちづくりに向けて

●みどりのネットワークの形成

- 補助26号線の街路樹整備の要請及び環状6号線（山手通り）の沿道の緑化推進
- 放射7号線（目白通り）及び補助76号線（目白通り）における街路樹の適正な維持管理の継続
- 南長崎地域のみどりと花の見どころを巡るルートを選定

●公共公益施設や民有地の緑化推進

- 富士見台小学校などの児童と地域で行うビオトープや緑化の維持管理を拡大
- 接道緑化や壁面緑化などの目に見えるみどりの創出やオープンスペースの確保
- 椎名町駅、東長崎駅周辺での緑化及び花壇づくりや住民による維持管理の推進

●拠点となる公園の維持管理の推進

- 南長崎スポーツ公園における公民連携によるより魅力的なみどりの維持管理
- 南長崎はらっぱ公園における区民が中心となった「いのちの森」やビオトープの維持管理活動の拡大
- 椎名町公園の大ケヤキのように、地域を代表するみどりの保全・維持管理

●区民参加によるみどりづくり

- 「学校の森」における区民と協働した適切な維持管理の推進
- 南長崎花咲公園や南長崎スポーツ公園などにおける区民参加の花壇の維持管理を推進
- （仮）パーク・グリーンインフラの推進
- 南長崎はらっぱ公園・南長崎スポーツ公園などの利用状況を踏まえて、区民・事業者・学生などの参加による南長崎地域の公園の利活用や再整備の取組を推進